

2025 年 5 月 27 日

西日本技術開発株式会社

「キューバ共和国 再生可能エネルギー導入促進業務」の開始について

西日本技術開発株式会社（代表取締役社長：穂山 泰治）（以下、「当社」）は、東電設計株式会社（代表取締役社長：窪 泰浩）、八千代エンジニアリング株式会社（代表取締役社長執行役員：高橋 努）と共同で、独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」）から「キューバ共和国 再生可能エネルギー導入促進業務」（以下、「本プロジェクト」）を受託し、5 月 26 日に、キューバ共和国ハバナのキューバ電力公社（Unión Eléctrica de Cuba: UNE）において、JICA キューバ事務所及び日本人専門家らの出席のもと、最初の合同委員会が開催され、本プロジェクトに本格的に着手しました。

2023 年に調査が終了した再生可能エネルギーの開発に向けた電力セクターマスタープランによると、キューバ共和国の電源構成は 2022 年の発電量ベースで石油 83.5%、天然ガス 12.5%、バイオマス 1.8%、太陽光 1.3%、水力 0.8%、風力 0.3%となっていますが、気候変動対応に向けて再エネのさらなる導入に意欲的であり、2014 年には 2030 年時点で 24%の発電量を再エネでまかなう政策目標を掲げています。

キューバでは、発電インフラの劣化による頻繁な停電のため、再生可能エネルギーの導入が大規模に進められています。これは、全国電力システムの運営における新たな課題であり、キューバ側は、これらの再生可能エネルギーを導入するにあたって負荷が生じる電力システムの運用についての技術支援の要請を行いました。

今般開始した 2 年間の技術協力プロジェクトにより、再生可能エネルギー導入に伴う配電・発電システムの管理・制御の改善が期待されます。

九電グループである当社は、「エネルギー・環境・社会基盤の未来を拓く総合技術コンサルタント」をスローガンに掲げ多くの政府開発援助に関わってきました。

キューバ共和国においては、2015 年より JICA を通じて再生可能エネルギー導入促進に関わる業務に従事しており、本業務では、これまでの知見と技術を活かし、キューバ共和国の電力安定供給に貢献するとともに、持続可能な社会の実現に向けて挑戦してまいります。

【西日本技術開発の概要】

代表取締役社長	穂山 泰治
所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通 1 丁目 1 番 1 号電気ビルサンセルコ別館
設 立	1967 年 2 月 1 日
ホームページ	https://www.wjec.co.jp

お問い合わせ： wjec_koho@wjec.co.jp

以上

別紙：「キューバ共和国 再生可能エネルギー導入促進業務」概要